

平成 30 年度 事業報告書

社会福祉法人 甲賀学園

1. 評議員会・理事会の開催および役員等の業務執行状況

社会福祉法改正に伴う社会福祉法人制度改革の一環として、昨年度から新たに評議員会を組織した。また、理事長が交代し新たな体制の下で法人運営が行われた。法令が定める『法人組織のガバナンス強化』『事業運営の透明性の向上』『財務規律の強化』に向け、具体的には、複数回の理事会・評議員会の開催、租税特別措置法第 40 条に対応した定款の変更、理事・監事・評議員の職員会議等の施設行事への積極的参加、公式ホームページ等を通じた情報公開、役員研修の実施、施設行事への参加等である。また、近い将来の大規模改修を見据え、老朽化してきた児童棟の屋根、外壁改修を行った。

(1) 評議員会の開催

開催数 開催年月日	評議員会ごとの出席者氏名			評議員欠席者氏名	議 題
	評議員数 /定数 氏名	理事	監事		
定時評議委員会 30.6.4	6/7 中邨文男 望月文衛 金田眞宏 藤村淳子 植村恵子 倉橋恵子	河合定郎 谷口忠一 増山好子 森地 純 春田眞樹	廣岡茂樹	黒川昌明	① 平成29年度事業報告の件 ② 平成29年度決算の件 ③ 社会福祉充実計画の件 ④ 定款変更の件
第2回 30.12.13	5/7 中邨文男 望月文衛 藤村淳子 倉橋恵子 黒川昌明	河合定郎 谷口忠一 杉森 正 森地 純 春田眞樹	森地万里子 廣岡茂樹	金田眞宏 植村恵子	① 平成30年度第一次補正予算の件
第3回 31.3.25	6/7 中邨文男 望月文衛 金田眞宏 藤村淳子 植村恵子 黒川昌明	河合定郎 谷口忠一 杉森 正 春田眞樹	森地万里子 廣岡茂樹	倉橋恵子	① 2018年度第二次補正予算の件 ② 2019年度事業計画の件 ③ 2019年度当初予算の件

(2) 理事会の開催

開催数 開催年月日	出席者数/定数	欠席者 氏 名	出席監事 氏 名	議 題
	出席者名			
第1回 30.6.4	5/6	谷口忠一	森地万里子 廣岡茂樹	① 平成29年度事業報告の件 ② 平成29年度決算の件 ③ 定款変更の件 ④ 建物(屋根)の改修及び入札実 施の件 ⑤ 定時評議員会の件
	河合定郎 増山好子 杉森 正 森地 純 春田真樹			
第2回 30.10.3	4/6	谷口忠一 杉森 正	廣岡茂樹	議決事項なし 報告事項 ①施設の現状報告 ②予算執行状況報告
	河合定郎 増山好子 森地 純 春田真樹			
第3回 30.12.13	5/6	増山好子	森地万里子 廣岡茂樹	① 平成30年度第一次補正予算 の件 ② 旅費規定改定の件 ③ 表彰規程の件 ④ 2018年度第2回評議員会の 開催の件
	河合定郎 谷口忠一 杉森 正 森地 純 春田真樹			
第4回 31.3.4	6/6	無	森地万里子 廣岡茂樹	① 2018年度第二次補正予算の 件 ② 2019年度事業計画の件 ③ 2019年度当初予算の件 ④ 2018年度第3回評議員会の 開催の件
	河合定郎 谷口忠一 増山好子 森地 純 杉森 正 春田真樹			

(3) 施設外研修・施設内研修・職員会議への参加状況

社会福祉法の改正や社会的養護の現状、他法人の取り組み等を学ぶために、全国児童養護施設協議会が主催する研修に参加した。また、鹿深の家の職員会議に参加し、現場の状況の確認や施設内研修に参加した。

施設外研修

日付	研修会名	主催/大会テーマ	参加者
30.10.17～19	第72回全国児童養護施設長研究協議会(札幌)	「養育の本質を礎に、社会的養護の将来像を描く」 ～現場実践者としての覚悟を問う～	河合定郎 春田真樹

施設内研修

日付	講師/概要	参加者
30.6.1	施設内研修 記録の取り方 講師：堺課長、石田主任、若林主任	河合定郎
30.7.19	法人役員研修会 小鳩乳児院、小鳩の家 施設見学及び小規模での生活、地域共生、地域貢献等に関する講話 講師：山本朝美施設長 大津・高島子ども家庭相談センター 滋賀県における児童保護の状況、児童相談所の取組等に関する講話 講師：川端伸章所長	河合定郎 谷口忠一 廣岡茂樹 森地万里子 中邨文男 藤村淳子 後援会役員
30.9.7	施設内研修 いじめの政治学 講師：綱島心理士	谷口忠一
30.10.5	施設内研修 被措置児童虐待研修 講師：堺課長、石田主任、若林主任	増山好子
30.12.7	施設内研修 これから目指す施設の方向性について ～児童福祉法、新しい社会的養育ビジョンを踏まえて～ 講師：春田施設長	河合定郎 森地 純
31.1.11	施設内研修 エスペランス四日市、宮川医療少年院見学訪問研修報告	河合定郎 望月文衛
31.2.1	施設内研修 一陽、聖霊愛児園見学訪問研修報告	廣岡茂樹
31.3.8	施設内研修 新天地養育院見学訪問研修報告	中邨文男

職員会議への参加状況

職員会議実施日時	参加者名	
	主担当者	
4月13日(金) 10:00~12:00	河合定郎	
5月7日(月) 10:00~12:00	-	
6月1日(金) 10:00~12:00	植村恵子	
7月6日(金) 10:00~12:00	藤村淳子	
9月7日(金) 10:00~12:00	谷口忠一	
10月5日(金) 10:00~12:00	増山好子	
11月2日(木) 10:00~12:00	杉森 正	
12月7日(金) 10:00~12:00	森地 純	河合定郎
1月11日(金) 10:00~12:00	望月文衛	河合定郎
2月1日(金) 10:00~12:00	廣岡茂樹	
3月8日(金) 10:00~12:00	中邨文男	

- (4) 施設外行事・施設内行事等への参加、環境整備への協力等
法人役員が入所児童や職員と行事を通じて交流を図った。

30.8.20 6時間耐久マラソン

(参加者：河合定郎)

30.11.3 鹿深の家まつり

(参加者：河合定郎、谷口忠一、森地純、増山好子、廣岡茂樹、森地万里子、金田眞宏、藤村淳子)

31.3.28 歓送迎会

(参加者：谷口忠一、廣岡茂樹、中邨文男、望月文衛、金田眞宏、黒川昌明)

- (5) 監事監査の実施 平成30年5月17日(木)

2. 後援会の開催

主な活動内容

事業内容	詳細
広報活動	<p>① 定期刊行物として鹿深の家だよりを発行 第101号 平成30年11月1日 発行方法…ホームページ及び郵送、甲賀町回覧</p> <p>② ホームページの運用 法令で定められた内容について公開 役員名簿、諸規程（定款、評議員選任・解任委員会運営細則、役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程）、事業計画 および事業報告、計算関係書類、現況報告、苦情解決、第三者 評価</p>
地域交流	<p>① 鹿深まつり開催 平成30年11月3日に開催 参加者総数422名（うち359名が地域や外部の方々） 開催テーマを「～紡～」と定め、今年度も子どもと大人が一体となり、舞台劇・ピアノ発表・和太鼓と取組み、地域の皆様や観客から大きな評価を得た。また今年度は立命館宇治高等学校の書道パフォーマンスを取り入れ、卒園生も活動しているよさこい演舞団と共にイベントに華を添えた。また企業や地域の方々の協力を得て、まつりが盛大に開催できた。 今年度は外部からの来園数も大幅に増加して、地域に密着した運営を理解してもらったいい機会となった。</p>
後援会組織	<p>昨年より後援会活動の再編・充実等を図かり、後援会会則を改定し、11月より活動を再開した。また役員を選任も行い、組織体制を確立した。</p> <p>活動の再編に当たっては、卒園する子どもの現状を踏まえ、後援会として応援しているというメッセージを伝えるため、自立支援に重点をおいた活動を行う。</p> <p>また役員の方には当施設の理解を深めてもらうため、他施設の見学会を実施したり、施設内の清掃ボランティアなどを進めている。</p> <p>将来の建物の大規模改修に向けて、どのような形で支援の輪を広げていくのかということについて検討していくと共に、施設の現状を地域の方に知ってもらえる手立てを今後も検討していく。</p>

3. 施設の運営

(1) 職員の状況

鹿深の家（平成31年3月31日付）

職種	施設長	児童指導員 保育士	個別対応	F S W	栄養士	事務員	調理員等	計	里親支援	F S W	心理療法担当	小規模G ケア	特別指導	計
定数	1	9	1	1		1	4	17						
加算職員									1	1	1	4	1	8
【実数】	1	12	1	1	1	1	5	22	1	1	1	4	1	8
常勤	1	12	1	1	1	1	3(1)	20	1	1(1)	1	2		5
非常勤							2	2				2	1	3

※（ ）の数字は産前産後休暇および育児休暇取得者。

※産前産後休暇および育児休暇取得者2名（鹿深の家2名）。うち1名は2019年度内に復職後、再度産前産後休暇および育児休暇取得予定。うち1名は2020年度復職予定。

※年度中の正規職員の退職者無し。

※1名休職中。

第二鹿深の家（平成31年3月31日付）

職種	児童指導員 保育士	計
定数	2.5	2.5
【実数】	4	4
常勤	4	4

(2) 総務課の状況

① 諸規程の整備状況

変更した規程	主な変更理由
定款	登記している建物の面積の不備を訂正
旅費規程	平成29年度指導監査で指摘を受けた部分に関して実情に合わせて訂正
表彰規程	新たに整備(永年勤続表彰、皆勤表彰)

② 労務関係

従業員の労働環境改善に向けて

宿直専門員増員(非常勤保育士を契約変更して雇用)。

元職員を非常勤で雇用(H31.3)

③ 施設整備の状況

単位：円

事業名	実施予算	実支出額	備考
コンクリート壁の補強	無	417,280	6月の大阪地震でのブロック塀倒壊事故を受け、急遽補強工事を行った。 解体工事(修繕) 145,800 鉄骨壁設置(建物その他) 271,480
児童棟屋根、壁改修工事	15,000,000 (本園4棟+第二鹿深の家)	屋根改修 4,320,000	椿ホーム屋根改修 650,664 榎ホーム屋根改修 823,590 楸ホーム屋根改修 853,017 柵ホーム屋根改修 912,729 第二鹿深の家屋根改修 1,080,000
		追加工事 外壁洗浄改修 3,132,000	(※) 追加工事について 屋根の改修後、外壁の補修が必要な箇所が見つかったため、足場を崩す前に理事長の専決事項として追加工事を行った。 椿ホーム外壁塗り替え 763,288 榎ホーム外壁洗浄 623,471 楸ホーム外壁洗浄 658,848 柵ホーム外壁洗浄 621,993 第二鹿深の家外壁改修 464,400
		合計 7,452,000	

④ 将来構想の計画と推進

(ア) 家庭的養育推進計画の策定と計画の推進

平成29年8月に厚生労働省より発表のあった新しい社会的養育ビジョンに示された方向性にとり、地域化、小規模化へ向けた計画を立案し、子ども・職員と共に共有した。

(イ) 建物設備の老朽化対策

児童の生活拠点の改修を行った。特に、設備の老朽化に伴う改修がほとんどであった。

児童棟全5棟は屋根、外壁の改修を行った。

(ウ) 情報管理の徹底と情報管理教育の推進

日常点検を徹底するとともに、その報告を毎日朝礼等で行い、常に意識化に置くことを徹底した。

また、折に触れ、情報管理に関する話題等を提供し、さらなる意識向上に努めた。

(エ) 人材育成(職員が長く続けられる環境づくりの推進、児童の自立支援の推進)

職員自らが講師となり様々なテーマを設けて事業所内研修を複数回開催した。テーマを決めて、判別に県外の施設見学を行い、他所の状況を学ぶ機会等を設けた。特に平成29年度から実施された社会的養護処遇改善への対応のために、指定研修へ積極的に職員を派遣した。

⑤ 広報啓発活動の実施

(ア) 甲賀学園後援会より「鹿深の家だより」の1回発行

101号 (H30.11.1)

(イ) 公式HPの公開 (H26年6月1日) <http://kafuka-home.com/>

法令で定められた内容について公開

役員名簿、諸規程 (定款、評議員選任・解任委員会運営細則、役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程)、事業計画および事業報告、計算関係書類、現況報告、苦情解決、第三者評価

その他、法人の活動や施設の紹介等

(ウ) 年報8「歩む」発行 (H30.11)

(3) 自立支援課・食育課の状況

① 措置児童の年間推移 (毎月月初の措置児童数)

月	員数		月	員数		月	員数		
30. 4	28	5	30. 8	29	5	30.12	28	5	
5	28	5	9	29	5	31.1	28	5	
6	29	5	10	29	5	2	28	5	
7	29	5	11	28	5	3	28	5	
	鹿深の家	第二	() 内は措置停止児童数					341	60

② 平成31年3月31日付の在籍状況

鹿深の家	2歳未満	就学前	小学生	中学生	高校生	自立支援	措置停止	計
男子	0	1	6	4	4			15
女子	0	0	7	2	3	1		13
合計	0	1	13	6	7	1		28
措置延長児童の状況			対象1名(女1)					
高校生の状況(進路)			対象1名(男1)⇒就職1					
中学生の状況(進路)			対象4名(男2、女2)⇒公立3・私立1					
第二鹿深の家	2歳未満	就学前	小学生	中学生	高校生	自立支援	措置停止	計
男子	0	0	1	0	1	0	0	2
女子	0	0	0	2	1	0	0	3
合計	0	0	1	2	2	0	0	5
高校生の状況(進路)			無					
中学生の状況(進路)			対象1名(女)⇒公立1					

③ 平成 30 年度の入退所の状況

入所者数	内訳		備 考			
2	男子	1				
	女子	1				
退所者数	内訳		備 考			
2	男子	1	就職 1			
	女子	1	家族再統合 1			
一時保護委託			備 考			
大津・高島子ども家庭相談センター			3名			
中央子ども家庭相談センター			2名			
彦根子ども家庭相談センター			1名			
一時保護打診						
大津・高島	3ケース	中央	6ケース	彦根	0ケース	

④ 権利擁護の推進

権利擁護委員会による実地調査結果

実施日	主な内容
H30 年度	今年度訪問なし。

第三者評価委員会による実地調査結果

実施日	主な内容
H30 年度	今年度は受診せず。次回 2020 年度受審予定。

第三者委員への報告

実施日	主な内容
H30.10.2 H31.3.24	施設の現状報告、入所児への第三者委員の紹介、苦情解決の助言をもらう。

自主点検実施

実施日	主な内容
H31.11 H31.3.23	チェックリストに基づいて児童養護施設における人権擁護と人権侵害の禁止・防止・対応のチェックを行う。

苦情解決の取り組み

苦情受付件数	主な内容とその結果
7件	<p>○児童に対する職員の関わり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退園児童へ関わりが過剰となり、成長を妨げる ・園外で子どもが不適切な行動をとっている <p>○職員の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の言葉づかいが適切でない ・行事で出会っても挨拶がない <p>○職員の業務の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供を頼んでも、伝えられた情報が間違っている ・同様のミスを繰り返す ・HP内容が実情に合っていない <p>※上記の内容については、平成31年3月24日に第三者委員に対して報告を行い、助言を頂いた。また、いずれの事例についても内部検証を行い、当事者への説明や謝罪を行い、再発防止に努めると共に職員の支援力の向上に向けて研修等の機会の充実を図った。</p>

⑤ 入所児童の安心・安全への取り組み

(ア) 事故防止に対する取り組み

春季、秋季、冬季の年3回（始業式後から約1ヶ月間）、小中学生が登校する時間帯に、職員を通学路に配置し見守り活動を行うと共に、自転車の乗り方に対する指導、安全教育等を行った。

(イ) 環境整備作業

地元小佐治区や隣家、行政等の協力を得て、通学路周辺の草刈りや溝掃除、ゴミ拾い等を継続的に実施した。

(ウ) 性教育委員会の活動

施設内における共通言語作り（性行動のルール・境界線のルール）、アルバム作りや生い立ちの整理の推進、施設内の安全マップの周知徹底、入所時の「こことからだの安心安全プログラム（児童相談所が実施）」の受講有無の確認など

4. 地域交流

(1) 鹿深まつり開催

平成30年11月3日に開催

参加者総数422名（うち359名が地域や外部の方々）

開催テーマを「～紡～」と定め、今年度も子どもと大人が一体となり、舞台劇・ピアノ発表・和太鼓と取組み、地域の皆様や観客から大きな評価を得た。また今年度は立命館宇治高等学校の書道パフォーマンスを取り入れ、卒園生も活動しているよさこい演舞団と共にイベントに華を添えた。また企業や地域の方々の協力を得て、まつりが盛大に開催できた。今年度は外部からの来園数も大幅に増加して、地域に密着した運営を理解してもらったいい機会となった。

(2) 家庭支援事業

事業内容	件数	受入実人数	受入延べ日数	備考
一時預かり	30	1	30	仕事の都合で面倒が見られない 育児のリフレッシュのため
事業内容	件数	備考		
電話相談	2	甲賀市から		一時預かりの打診

(3) 小佐治区との関わり

	内容
納涼祭（ホットドッグ、ワッフル）への出店	地元小佐治区の要請を受け、出店を出店し、地域交流を図った。
櫛野寺大開帳（安倍川もち）への出店	地元小佐治区の要請を受け、出店を出店し、地域交流を図った。

(4) ボランティアの受入

個人・企業・団体名	内容
甲賀町赤十字奉仕団	裁縫、施設内清掃、草刈りなど
湖南市たんぼぼの会	施設内の清掃
鹿布花ボランティアクラブ	花壇作り、環境整備
天理教ひのきしん	施設内の清掃
甲賀町民生委員	梅林手入れ、環境整備
カットボランティア	入所児童のカットやスタイリング
あまりあさん	クリスマスミニコンサート
湖南市ボランティアセンター	ゴーヤカーテンを作るプロジェクト
学生ボランティア	ホーム内ケア補助
個人ボランティア	同上

(5) その他交流事業

企業・団体名	内容
有限会社みなと薬品	沖縄県の石嶺児童園の児童と外出、食事(8月) 8月に対応した児童を沖縄へ招待(3月-4月)
パナソニック ホームズ滋賀株式会社	流しそうめんとスポーツレク
フィリップモリスジャパン株式会社	施設内の環境整備
ショット日本労働組合	餅つき及びレクレーションの実施
アンファー株式会社	社員研修の受入・鹿深まつりの運営への協力
大原薬品工業株式会社	本社工場内で交流行事